

《ポイント》

- 7月12日、最高選挙管理委員会(TSE)は、前月(6/25)投票の行われた総選挙のうち大統領選挙分につき最終結果をようやく確定させ、これを公表。最多得票者がサンドラ・トーレス候補(国民希望党)の15.9%に留まったため、11.74%で次点のベルナルド・アレバロ候補(種の運動党)との間で決選投票(8月20日)が行われることが決定した。
- 16日には国会議員選挙(定数160)の公式結果も公表された。現与党のバモス党が最多の39議席を獲得。現有51議席の国民希望党は28議席に留まった。今次選挙でも、過半数を占める政党はなかった。
- 他方で、今回の投票結果の確定は、複数政党による異議申立てを受け、憲法裁判所が得票集計表の見直しを命じたこと等から、2週間近く遅延。その後、検察庁の求めに応じて下級裁が種の運動党の法人格停止をTSEに命じる等の動きも重なり、選挙プロセスは混乱、国内外から批判や民主主義への懸念の声が上がった。
- その他、米国政府は、いわゆるエンゲル・リストを更新し、公表(2023年版)。その中には、種の運動党の法人格停止に係る命令を出した下級裁の判事を始め、10名のグアテマラ人が新たに掲載されている。

1 内政

(1) 総選挙関係

ア 憲法裁判所による集計表の見直し命令

6月25日に行われた大統領選挙・国会議員選挙・市長選挙他に関しては、複数政党が票の集計に改ざん等の不正があったとして異議を申し立て、7月1日、憲法裁判所(CC)は、最高選挙管理委員会(TSE)に対し、各投票所から提出された集計表の一斉見直しを命じた。これにより、当初6月末と見込まれていた公式結果の発表はいったん見送られ、大統領選挙に関しては、決選投票に向けた選挙運動の開始も保留となった。

イ 総選挙の公式結果の発表

7月12日、TSEは、大統領選挙(6/25)に関する投票結果を公表(以下参照)。併せて、いずれの大統領候補も投票総数の過半数に達しなかったとして、上位2候補(サンドラ・トーレス国民希望党候補、ベルナルド・アレバロ種の運動党候補)による決選投票(8月20日)の公示を宣言した。なお、国会議員(拘束名簿式比例代表制160議席:全国区32議席、地方区128議席)、中米議会議員(20議席)等の公式結果は16日に発表された。

《大統領選挙(第一回投票)の得票数》

1 国民希望党(UNE、サンドラ・トーレス候補)	888,924票(15.97%)
2 種の運動党(Semilla、ベルナルド・アレバロ候補)	653,486票(11.74%)
3 バモス党(与党Vamos、マヌエル・コンデ候補)	436,918票(7.85%)
4 ビジョンと原則党(VIVA、アルマンド・カスティージョ候補)	397,469票(7.14%)
5 カバル党(Cabal、エドモンド・ムレット候補)	369,903票(6.65%)
6 バロール党・統一会派党(Valor-Unionista、スリー・リオス候補)	366,574票(6.59%)
7 意志機会団結党(VOS、マヌエル・ビジャコルタ候補)	236,574票(4.25%)
8 国民福祉党(Bien)	142,129票(2.55%)
9 勝利党(Victoria)	137,793票(2.48%)
10 ウィナック政治運動党・国民革命連合党連合(WINAQ-URNG)	88,211票(1.58%)
11 みんなの党(Todos)	78,503票(1.41%)
12 私たちの政党(Nosotros)	66,962票(1.20%)
13 青の党(Azul)	61,544票(1.10%)
14 家族の党(Mi Familia)	46,365票(0.83%)
15 公約革新秩序運動党(CREO)	43,786票(0.79%)
16 共和連合(UR)	40,363票(0.73%)
17 象の党(Ellefante)	39,658票(0.71%)
18 ウマニスタ党(Humanista)	35,423票(0.64%)
19 共和党(PR)	32,497票(0.58%)
20 国民集中戦線(FCN)	22,816票(0.41%)
21 変化の党(Cambio)	18,306票(0.33%)
22 国民統合党(PIN)	7,944票(0.14%)
無効票	964,755票(17.33%)
白票	388,363票(6.98%)
投票総数	5,565,598票(100.00%)

《国会議員政党別議席獲得数》

	当選(現有)
① バモス党(Vamos／中道右派)【現与党】	39(17)
② 国民希望党(UNE／中道左派)	28(51)
③ 種の運動党(Movimiento Semilla／中道左派)	23(7)
④ カバル党(Cabal／中道右派)	18(—)
⑤ ビジョンと原則の党(Viva／右派)	11(7)
⑥ バロール党・統一会派党連合(Valor-Unionista／右派)	7(9)
⑦ みんなの党(Todos／右派)	6(6)
⑧ バロール党(Valor／右派)	5(—)
⑨ 国民福祉党(Bien／中道右派)	4(2)
⑩ 意志機会団結党(VOS／中道左派)	4(—)
④ 私たちの政党(Nosotros／右派)	3(—)

⑫ 勝利党 (Victoria／右派)	3 (2)
⑬ 公約革新秩序運動党 (Creo／中道右派)	3 (5)
⑭ 青の党 (Azul／右派)	2 (―)
⑮ 象の党 (Elefante／中道右派)	2 (―)
⑯ ウィナック政治運動党・国民革命連合党連合 (Winaq-URNG／左派)	1 (7)
④ 変化の党 (CAMBIO／中道右派)	1 (―)
計160議席	

《中米議会(PARLACEN)政党別議席獲得数》

	当選(現有)
① バモス党 (Vamos／中道右派)【現与党】	5 (2)
② 国民希望党 (UNE／中道左派)	4 (5)
③ 種の運動党 (Movimiento Semilla／中道左派)	3 (―)
④ バロール党・統一会派党連合 (Valor-Unionista／右派)	2 (1)
⑤ ビジョンと原則の党 (Viva／右派)	2 (1)
⑥ みんなの党 (Todos／右派)	1 (1)
⑦ 私たちの政党 (Nosotros／右派)	1 (―)
⑧ 意志機会団結党 (VOS／中道左派)	1 (―)
⑨ ウィナック政治運動党・国民革命連合党連合 (Winaq-URNG／左派)	1 (1)
計20議席	

ウ 一部の市長選挙のやり直し

以下の5つの市の市長選挙に関しては、選挙当日の投票妨害、投票済用紙の焼失等があったため、8月20日の大統領選挙決選投票に併せて選挙のやり直しが行われることとなった。

グアテマラ県サン・ホセ・デル・ゴルフオ市(San Jose del Golfo)
レタルウレウ県サン・マルティン・サポティラン市(San Martin Zapotitlan)
チマルテナンゴ県サン・ペドロ・イエポカパ市(San Pedro Yepocapa)
スチテペケケス県サン・パブロ・ホコピラス市(San Pablo Jocopilas)
キチェ県サン・バルトロメ・ホコテナンゴ市(San Bartolome)

(2) 「種の運動党」法人格停止問題

ア 7月12日、第七刑事裁判所は、TSEによる総選挙公式結果発表に先立つタイミングで、種の運動党の党設立に際する手続きに不正があったとして、TSEに対して、同党の法人格を停止するよう命じた。これを受けて、検察庁(MP)無処罰問題対策専門局(FECI)は、同党及びTSE市民登録局に対して家宅捜索を開始した。

イ 13日、種の運動党は、第七刑事裁判所の同命令に関し、憲法裁判所に異議申し立て

(保護請求)を行った。憲法裁は、これを認め、政党選挙法第92条に基づき、第七刑事裁判所の判決からの一時的保護を認めた。これにより、アレバロ候補の決選投票への出馬は確保されることとなった。

ウ 他方で、その後も検察庁は、「決選投票へ進出する2候補による選挙の実施を保証する」としつつ、種の運動党およびTSEへの捜査継続の意向を明らかにした上で、TSEの市民登録局長の不逮捕特権剥奪請求を行う等した。

エ 大統領決選投票を前にした検察・司法による一連の動きに対して、国内では選挙監視団体や人権擁護事務所、経団連(CACIF)など数多くの団体がTSE支持の声明を出し、市民グループによる検察庁への抗議活動も小規模ながら発生した。

(3) 経済大臣およびエネルギー・鉱山大臣の辞任

7月11日、ハニオ・ロサレス経済大臣とアルベルト・ピメンテル・マタ エネルギー・鉱山大臣が辞任し、代わって、13日、経済大臣に経済次官(財務・官房担当)のルス・マリーナ・ペレス・コントレラス氏(43歳)が、18日、エネルギー・鉱山大臣に同省エネルギー担当次官のマヌエル・エドゥアルド・アリタ・サガストゥメ氏がそれぞれ就任した。

2 外交

(1) 選挙プロセスに対する国際社会の懸念

ア 種の運動党および最高選挙管理委員会(TSE)に対する検察当局の捜査に関し、米国、EU、米州人権委員会をはじめとして国際社会からは、選挙プロセスへの不当な介入であり、民主主義を弱体化させるものであるとして懸念等が示された。

イ 19 日、米州機構(OAS)常設理事会では、同機構が派遣していた選挙監視団(MOE-OAS)からの報告が行われ、多数の加盟国から、司法による選挙への介入とそれによる民主主義の劣化に対し、懸念の声が上がった。これに対して、グアテマラのブカロ外相は、グアテマラは他国の内政問題である選挙に干渉したことはないとして、これに不快感を示した。

ウ 24日、米国のニコルズ国務次官補は、電話会談でブカロ外相に対し、「候補者及び政党への妨害や執拗な追及が行われることなく、決選投票が実施されることが極めて重要である」と述べ、これに対し、ブカロ外相は「グアテマラ政府は決選投票が確実に行われるよう努めている」と応じた旨が報じられた。

27日、ニコルズ国務次官補は、米国を訪れたサンドラ・トーレス候補と会談を持ち、また別途、ベルナルド・アレバロ候補とはオンラインで会談を行った。その後、ツイッターの自身のアカウントで「我々はグアテマラの民間セクター及び市民社会、国際社会のパートナー及び米州機構と共に選挙プロセスに対する支援を続けていく」と発信した。

(2) 米政府によるエンゲル・リストの発表

7月19日、米 국무省は、反民主主義的活動や腐敗した政治家・役人等に対して米国内への入国禁止などの制裁を加える、いわゆるエンゲル・リストを更新し、これを公表(2023年版)。この中には、種の運動党の法人格停止に係る命令を出したフレディ・オレジャーナ裁判官をはじめ新たに10人のグアテマラ人が名を連ねる。

ジャマティ大統領府は、即日、同リストの公表に関し、これを拒否する旨のコメントを出した。また、検察庁も、このリストはグアテマラ国内においていかなる法的効力を持つものではなく、検察庁の業務にいかなる影響を与えるものではないとの立場を示した。

3 経済

(1) 消費者物価指数

国立統計局(INE)の統計によると 2010 年を基準(100)とした消費者物価指数は 6 月より 1.19 ポイント上がり、171.06 となった。前年度同月(163.64)比では 7.42 ポイントの上昇。前の月との比較でみると、4月から5月にいったん 0.36%下がったものの、再び5月から6月には 0.3%、6月から7月には 0.7%と上昇している。

(2) 為替レートと購買力

7月の通貨ケツアル対米ドル為替レートは6月(7.84)から 0.01、1年前(7.74)から 1.11 上がって 7.85(国立統計局。中銀データでは 7.87)となった。しかし、その購買力は 2010 年 12 月を 1 とした場合、毎月下がり続けており、7月には 0.58 にまで落ちた。

《経済指標》

◇主要経済指標◇	2023 年			2022 年	2021 年
	7 月	6 月	5 月		
インフレ率 (前年同月比)	4.53%	4.93%	6.54%	9.24%	4.28%
貿易収支 (百万ドル)	未発表	▼1,380	▼1,497	▼16,437	▼12,987
輸出 (百万ドル)	未発表	1,237	1,218	15,684.3	13,620.7
輸入 (百万ドル)	未発表	2,617	2,715	32,121.8	26,607.8
外貨準備高 (百万ドル)	20,969.8	21,160.5	20,044	20,019.8	20,939.6
外国からの送金 (百万ドル)	1,642.9	1,861.3	1,811.9	18,040.3	15,295.7
為替レート (対ドル月平均)	7.87	7.86	7.83	7.77	7.75

(出典: 中銀、国立統計局)